

中小企業地域資源
活用促進法に基づく

わが市町村の
ふるさと名物は
これ!



ふるさと名物
Furusato Meibutsu

なんぶちょう
青森県南部町
が応援するふるさと名物

- ◎季節を選ばず味わえる、新鮮でおいしい果物の加工品
- ◎南部の四季を堪能し、心に残る体験メニュー



存~ったり 遊~っくり 農~んびり

達者木村





ふるさと名物
Furusato Meibutsu

応援宣言

青森県南部町



地域の プロフィール



町のキャラクター
なべまるくん

★鍋条例

毎月22日は「鍋の日」として、町民が家族や仲間と鍋を囲み、子供の健全育成や仲間意識の醸成などによる町の活性化を目指しています。

南部町（なんぶちょう）は、平成18年1月1日に旧福地村、旧名川町、旧南部町の3町村が合併して誕生した町です。青森県の南東に位置し、八戸市の西部に隣接しています。町の中央を流れる馬淵川の沿岸部には、帯状に肥よくな平野が広がり、水稻や野菜の栽培が行なわれています。南西部には標高615mの名久井岳がそびえ、丘陵地帯では果樹栽培が盛んな町です。

町の基幹産業である農業は、ヤマセと呼ばれる風が吹く冷涼な気候条件を克服して育まれ、さくらんぼ、ゼネラル・レクラーク（西洋ナシ）、妙丹柿（みょうたんがき）、いちご、ブルーベリーなどの果樹栽培が盛んで、阿房宮（食用菊）、ナス、サヤインゲンなどの野菜は、県内一の生産量を誇ります。

一方で、農産物の価格の低迷、農業従事者の高齢化、担い手・後継者不足、TPP参加問題など、農業を取り巻く環境は一段と厳しさを増しています。

そんな中、南部町では今まさに「活力と交流に満ちたまち」の実現を目指し、町民、関係団体、行政が一体となって力を結集し、数多くある地域資源を最大限に活用し町の活性化が図られるよう力を注いでいます。



達者村とは・・・南部町全体です。南部町の地域資源をフル活用することにより、人や経済の流れ、人と人との交流をもたらし、「元気＝達者」な人が住み、そして訪れた人が達者になれるような地域づくりを目指す、地域ぐるみでの交流促進活動が「達者村」です。

○さくらんぼ



町の代名詞とも言えるさくらんぼ、高級品種の佐藤錦や南部錦など、県下随一の収穫量を誇り、全国的にも高い評価を得ています。風味と酸味を一層味わえるように工夫した「さくらんぼゼリー」や果実を混ぜて焼き上げた「チェリーパイ」、チェリーブランデーや砂糖煮したさくらんぼを使用した郷土菓子「さくらんぼ畑」などの加工品は大変人気です。



加工品群



チェリーパイ



さくらんぼ畑



さくらんぼゼリー

○ゼネラル・レクラーク



とろけるような食感、上質な味わい、独特な香りが人気の高級果実です。特に、ゼネラル・レクラークをふんだんに使用した「ゼネラルレクラークロール」や香料を一切使用せず低温で発酵した果実酒「ゼネラル・レクラークワイン」は、お土産として親しまれています。



ゼネラル・レクラークワイン



洋ナシと小松菜のムース



ゼネラルレクラークロール

○妙丹柿（みょうたんがき）



「柿が赤くなれば医者が青くなる」と言われるほど栄養が豊富に含まれており、ビタミンA、C、カロテンなどが多く含まれているため、食育の一環としても親しまれています。特に乾燥させた妙丹柿に相性抜群のチョコレートをまぶした「妙丹柿のチョコディップ」が好評です。その他、「柿の葉茶」、干柿を練り込んだ白あんを季節の風物詩である干柿の形にアレンジした「里柿」も南部町の特産品です。



加工品群



妙丹柿のチョコディップ



柿の葉茶



里柿

○ブルーベリー



完熟したブルーベリーはとても甘く、口に入れた瞬間に甘味とほのかな酸味のバランスが絶妙です。アントシアニンや食物繊維、ビタミンC、Eなどの栄養素が豊富に含まれています。「ブルーベリーグラタン」は、パイにブルーベリージャムや牛乳、小麦粉で作ったソースを入れてグラタン風に仕上げたスイーツです。このほかにもブルーベリーを使用した加工品を現在開発中です。



ブルーベリーグラタン

〇りんご



太陽の光をいっぱい浴び、山間地ならではのサクサクの食感は絶品です。完熟りんごをそのまま絞った果汁100%ジュースや、りんごをふんだんに使用した「りんごロール」、スライスしたりんごを包み込んだ「りんごのマドレーヌ」もおすすめです。



加工品群



りんごジュース



りんごロール



りんごのマドレーヌ

〇いちご



酸味と甘みのバランスがとても良く、とてもコクのある味です。果肉はやや固めでしっかりとした食べごたえがありジューシーです。そのようないちごをたくさん使用した「いちごパフェ」は、年齢・性別関係なく人気の品となっています。



いちごパフェ

◆季節を選ばず味わえる、新鮮でおいしい果物の加工品

南部町は、周囲を山々に囲まれた好適な環境を生かして、古くから果樹栽培が盛んに行われてきた、県内有数の「果樹の里」として高い知名度を誇ります。

地域資源である、町の代名詞ともいえる「さくらんぼ」や、大きな果実と芳醇な甘さと香り、滑らかな食感の洋なし「ゼネラル・レクラーク」、糖度と酸味のバランスが良く、すっきりとした甘さの「いちご」、甘味が強く繊維や種子の少ない美しい形の「妙丹柿」など、新鮮でおいしい果物を1年中味わうことができます。

町では産学官連携での6次製品の開発を支援しており、地域資源を活用した加工品やスイーツのブランド化への取り組みも進んでいます。「さくらんぼゼリー」や「ゼネラル・レクラークワイン」、「妙丹柿チョコディップ」などは、このような取り組みから生まれた商品で、町の特産品である「**達者村認証産品**」として認証を受けることができます。「達者村認証産品」に登録されることにより、流通・販売における付加価値を高めることができ、商品のPRや新たな販路開拓につながっています。



ふるさと名物の内容（農業観光）

◆南部の四季を堪能し、心に残る体験メニュー

「達者村農業観光振興会」では、四季を通じた各種体験メニューを用意しており、家族や仲間と一緒に、心温かな人々とふれあい、大自然のやさしい風を感じながら、さまざまな農業体験を楽しむことができます。

○春の体験メニュー

毎年5月4日

5月上旬～5月中旬

5月上旬～5月中旬

5月中旬～6月中旬

果樹の花見散策ウォーク

りんごの受粉体験

りんごの花摘み体験

りんごの摘果体験



果樹の花見散策ウォーク

りんごの受粉体験



さくらんぼ狩り

○夏の体験メニュー

6月中旬～7月中旬

6月下旬～7月下旬

7月中旬～8月中旬

8月上旬～9月中旬

8月中旬～10月中旬

さくらんぼ狩り

梅のもぎ取り

ブルーベリー狩り

桃狩り

梨狩り（和梨・洋梨）

桃狩り



ふるさと名物の内容（農業観光）

◆南部の四季を堪能し、心に残る体験メニュー

○秋の体験メニュー

9月上旬～10月上旬	りんごの葉摘み体験
9月上旬～11月中旬	りんご狩り
9月中旬～10月上旬	ゼネラル・レクラーク狩り
9月中旬～10月中旬	ぶどう狩り

○冬の体験メニュー

1月中旬～6月下旬	北国のいちご狩り
1月上旬～3月下旬	梅の剪定体験



りんご狩り



ぶどう狩り



北国のいちご狩り

四季のまつりは、毎年70,000人以上のお客様にお越しいただき、大変親しまれているイベントです。

「達者村農業観光振興会」では、安心・安全な農産物の生産のため、日夜「勉強会」や「意見交換会」のほか、「マナー講習会」も開催し切磋琢磨しています。

◆達者村農業観光振興会との協働

達者村農業観光振興会は、昭和61年に「名川町農業観光振興会」として設立され、平成18年の町村合併を機に「達者村農業観光振興会」と改称し、南部町エリア全体で果樹のもぎ取り体験をはじめとした農業観光の受入・交流を行っています。

町では、達者村農業観光振興会と協働で農業観光四季のまつりを開催しており、地域の地域資源をPRするとともに一層の誘客を進め、地域の活性化に取り組んでいます。



◆地域資源のブランド化（達者村認証産品制度）

地域ブランドの育成のため、「達者（安全・安心・健康）」をキーワードに、製造工程、価格の適切さなどのさまざまな基準によって審査・認定する達者村認証産品制度を設置しています。この認証を受けると、達者村自慢の特産品「達者村認証産品」として、特産品認証票を貼付して販売することが可能になります。これにより消費者の信頼を確保することができ、商品のPR及び消費拡大、生産者の生産意欲の向上、国内外への販路開拓への支援につながっています。

◆その他の代表的な取り組み ～グリーン・ツーリズム～ ～田舎を楽しみながら、心身のリフレッシュにもなる旅～

「達者村」は、農林水産業と観光を結びつけた「あおもりツーリズム」のモデル事業で、平成16年に旧名川町に開村した疑似農村（バーチャル・ビレッジ）です。「友(ゆ)～ったり 遊(ゆ)～ったり 農(の)～んびり」をキャッチフレーズに、従来から取り組んできたグリーン・ツーリズムの活動にさらに幅と深さをもたせ、地元の自然や地域資源を活かして、来訪者と交流を深めながら「日本一おもしろい村」を目指していこうという取り組みです。

南部町では、自然と親しみながら心が安らぐ余暇を過ごしていただくためのプランを提案し、温かいおもてなしで皆さんをお待ちしています。

毎年、首都圏や関西圏などの中学校及び高校の修学旅行生や海外からの研修生なども農家に宿泊しており、さくらんぼ狩りやりんごの人工授粉、田植え、稲刈り、野菜の収穫などに挑みながら田舎暮らしを体験し、モノを育てることの大切さを学ぶとともに、農家の方々との交流を深めています。

仲間や家族と一緒に、素朴な人々とふれあい、大自然のやさしい風を感じながら、いつまでも心に残るさまざまな農業体験を存分にお楽しみください。

このような南部町を、どうぞよろしくお願いします！！



初めてのりんご園



修学旅行生